

課題別評価表(1)

取組課題 開かれた学校	担当名・指導部名／担当者名 コミュニティ・スクール事務局／三輪 辰男	評価方法	教職員アンケートを中心とする 教職員による自己評価 (項目により対象の幅は異なる)
取組の柱 1 学校教育活動への関心・期待を高めるため、積極的かつ分かりやすい情報発信に努める。 2 学校と保護者との信頼関係を大切にし、連携した取組を展開する。 3 学校と地域住民が協力し合う取組を展開する。	実態把握 各種通信、ホームページ、学校掲示板を活用し、本校の教育活動や児童の様子についての積極的な情報発信に努めてきた。経年ごとに更新の頻度を高めることができ、保護者・地域住民から好評を得ている。学校説明会や中間報告会も開催日時を工夫することにより、昨年度は200名を超える参観者を得るようになった。他方、学級懇談会の参加者(とりわけ二学期)は、残念ながらそれほど多くはない。地域との連携については、学習支援ボランティア、登下校の安全パトロール、「夏休み教室」の講師、トイレ清掃、図書館整備等、年間を通して本校の教育活動に積極的に参画・支援してくださる方が多い。しかし、そのうちの多くが高齢の地域住民である。若い世代や保護者の参画を増やすことが今後の課題である。	達成度の判断基準	教職員の評価の平均 A : 3.5以上 4.0以下 B : 3.0以上 3.5未満 C : 2.5以上 3.0未満 D : 2.5未満

評価項目 (具体的な取組)	評価基準	達成度 ※網掛けは昨年度			
		中間	中間	年度末	年度末
1(1) 学校教育活動の様子を保護者・地域住民に、積極的かつ分かりやすく発信する。	学期中、ホームページは毎日、学校掲示板は一週間に1回以上更新するとともに、見やすく分かりやすい表現による情報発信に努めることができた。	A	A	A	A
1(2) 保護者・地域住民が参加しやすく、学校との連携がいつそう深まるよう、学校公開デー・授業参観等の開催日、テーマ・内容、広報等を工夫する。	担当者(学級担任外)は、開催日、テーマ・内容、広報等を工夫することができた。(教職員アンケートからの評価)	4.0 A	3.5 A	3.7 A	3.7 A
2 保護者が参加しやすく、教師との連携がいつそう深まるよう、学級(学年)懇談会のテーマ・内容、広報等を工夫する。	学級担任は、懇談のテーマ・内容、広報等の工夫に努めることができた。(教職員アンケートからの評価)	3.6 A	3.5 A	3.9 A	3.4 B
3 関係諸団体と協働し、学校教育活動の充実・教育環境整備への地域人材(含保護者)の積極的活用を努める。	年間を通じて、のべ450人以上の地域人材を活用することができた。	A	—	A	A

達成度については、A:十分に達成できた B:おおむね達成できた C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

中間評価		年度末評価		次年度への申し送り
9月末の達成状況	総合評価	12月末の達成状況	総合評価	
1(1) ホームページ、学校掲示板ともに評価基準を超える頻度で更新することができた。情報発信にあたっては、児童の姿をとらえた画像をより多く使用して視覚的に伝えるように努めた。 1(2) 学校説明会や学校公開デーの開催日を保護者・地域住民が参加しやすい土曜日とするとともに、PTA総会などとセットで設定することにより、多くの参加者を得ることができた(学校説明会の参加者は、約250人)。 2 学級懇談会では、懇談のテーマ・内容を保護者の学級委員と相談したり、決定内容を事前に学年だよりで広報したりするなど、参加者を増やすための取組が行われた。 3 「夏休み教室」の講座数は41と過去最高数となるなど、例年を超える水準で地域人材の活用をすることができた。しかし、「年間を通じて」が条件であり、現時点では達成度を示すことができない。	A	1(1) 情報発信では、学校ホームページ、学校掲示板ともに年間を通じて、評価基準を超える頻度で更新することができた。児童の姿や作品など、多くの画像を使用した情報発信は、「分かりやすい」と好評を得た。1(2) 学校説明会や中間報告会を土曜開催とし、日程を工夫することによって、本年度も多くの参加者を得ることができた(学校説明会、約250人。中間報告会、約200人)。次年度も継続していきたい。 2 学級懇談会では、テーマを学級委員と相談したり、学年だよりなどで広報したりするなど、参加者を増やすための取組が行われた。二学期の人権学習参観後の懇談会は、昨年度より14名多い参加者数(175人)を得ることができたが、一学期(246人)に比べ参加者が少ないことが課題である。 3 地域人材の活用では、年間を通じて、のべ488人の方による学習支援をいただいた。また、トイレ清掃指導、プールの除草作業、図書館整備など環境整備においてもボランティアの方のお世話になった。	A	1(1) 保護者・地域住民の視点に立った情報提供 1(2)・2 保護者・地域住民にとって魅力ある学校説明会や学級懇談会の実施 3 地域住民と連携した教育活動の更なる充実